

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県神川町 城峯公園キャンプ場

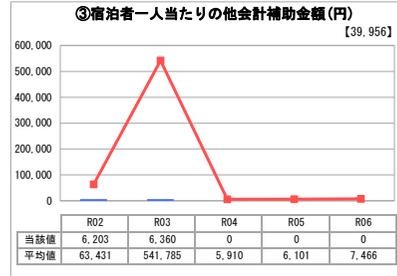
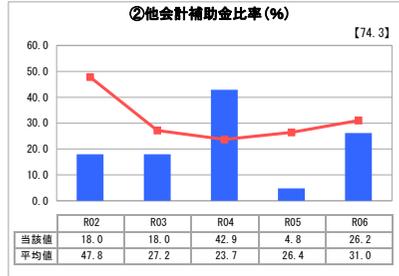
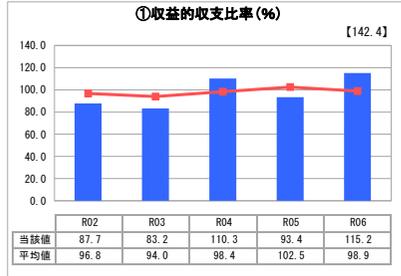
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,247	114	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
3,122	利用料金制	97.9
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

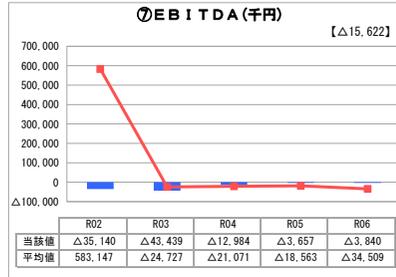
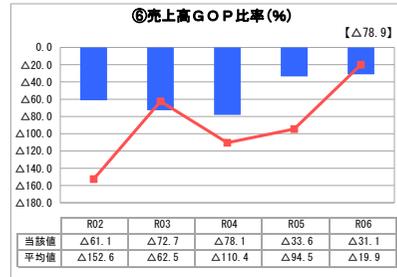
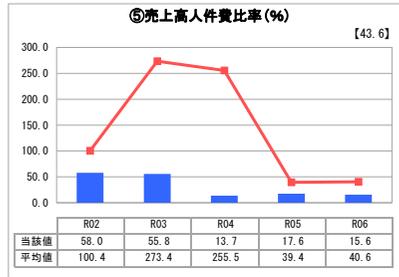
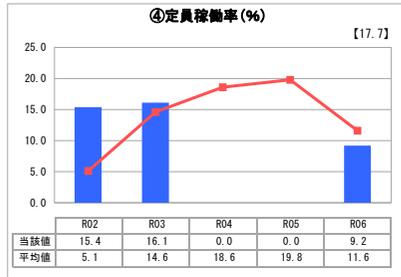
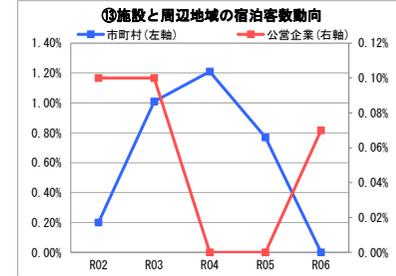
グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は老朽化による施設修繕がありました。宿泊者数が前年より増加しており平均値を超えています。他会計補助金比率は、類似施設平均よりは低い値ですが、老朽化による施設修繕もあり昨年より増加しています。売上高人件費比率は類似施設平均よりは低い値ですが、宿泊者の回復による売上高の増加と、人件費の急騰により横ばいとなりました。売上高GOP比率は売上高は微増でしたが、施設老朽化による修繕費用の増の影響で落ち込んでいます。EBITDAは施設老朽化による修繕費用の影響で、値が下振れています。

2. 資産等の状況について
 設備投資見込み額は、製氷機の入替や宿泊施設など老朽化による修繕を行いました。今後も老朽化による設備投資が増えることが予想されます。企業債残高対料金収入比率については、観光施設事業に関わる企業債は完済、現在は指定管理者制度を導入し、現在は料金収入もないため0%となっています。

3. 利用の状況について
 施設と周辺地域の宿泊客動向については、当該施設及び周辺地域それぞれの延泊者数が、所在都道府県の延泊者数に占める割合の推移を表す指標です。昨年度時点から比較すると宿泊者数は増加しており、外国人利用者も増加しています。

2. 資産等の状況

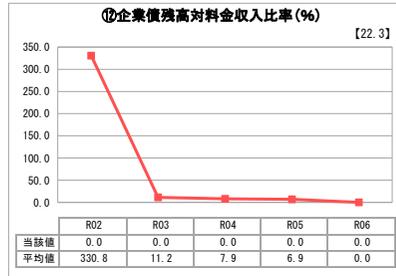
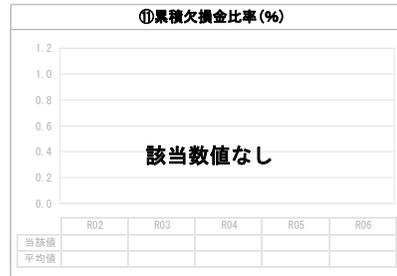


⑨施設の資産価値 (千円)

154,893

⑩設備投資見込額 (千円)

36,960



全体総括
 当該施設については指定管理制度を導入して運営しています。一般会計からの繰入金に依存しているため、より一層の経営改善により宿泊者数を増加させ、独立採算の運営が求められています。当該施設は下久保ダムや城峯公園といった施設が近くにある立地で、観光客が多く訪れる場所ではありますが、山中にあり、冬季には路面の凍結が発生するなど、開散期における宿泊客獲得に向けた対応が必要です。